

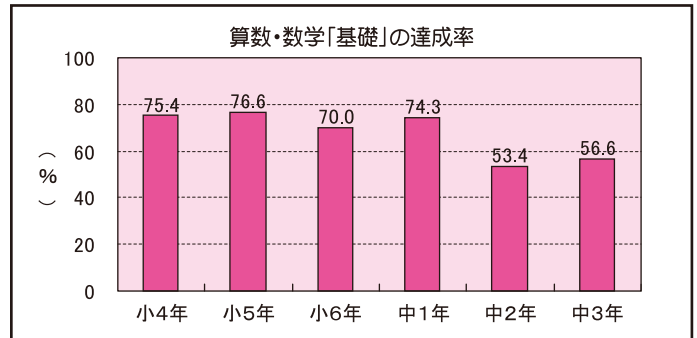
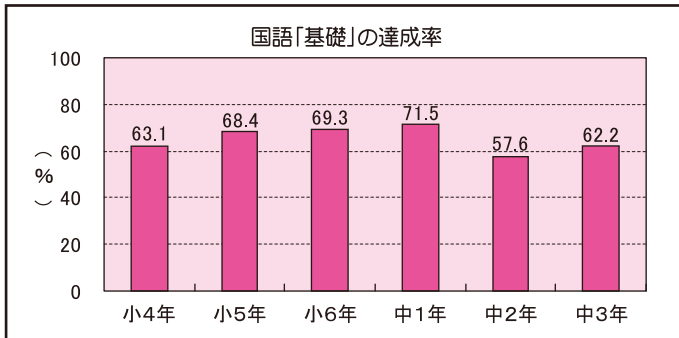
# 学力向上のための取組を進めています

—平成23年度の「確かな学力の定着度調査」の結果を公表しています—

区では、小学校4年生以上と、中学生を対象として、「確かな学力の定着度調査」を4月13日(水)に実施しました。学習内容が身に付いているかどうかを把握する「学習到達度調査」とともに、学習に取り組む意欲や、家庭での日常生活習慣などの意識を測る「学習意識調査」から、児童・生徒の学習状況の全体像を把握します。

## ●「確かな学力の定着度調査」の結果 (一部抜粋)

### 【学習到達度調査】



※ 「達成率」とは、目標値を超えている児童・生徒の割合のことをいいます。(100人中50人が目標値を上回った場合→「達成率」50%)

## ●実施結果から考えられること

### ☆「学習到達度調査」からわかること

- ・国語の基礎の達成率については、小学4年から中学1年において学年が上がるにつれて達成率が上昇しています。中学2年で達成率が60パーセントを下回り、大きな課題となっています。
- ・算数・数学の基礎については、小学4年から中学1年までは達成率が70%を超えており、概ね満足できる状況ですが、中学2、3年では、達成率が下降して、60%を下回っており、課題があります。

## ●授業改善に向けての取組

- ・葛飾区教育委員会では、区独自の学習支援講師などによる「習熟の程度に応じた少人数指導」の推進を行っています。また、小・中学校において葛飾教育の日(土曜日授業)や、夏季休業日の縮減により授業時数を増やしています。
  - ・「家庭学習のすすめ」を作成し、家庭と連携して学習習慣を確立していきます。
  - ・各学校では、すでに児童・生徒及び保護者の皆さんに、各自の学習到達度調査及び学習意識調査の結果を配布するとともに、各児童・生徒の指導に取り組んでいます。これらの調査結果をもとに「授業改善推進プラン」を修正・改訂し、よりよい授業を実施することで子どもたちの学力の向上に努めています。
  - ・学習意識調査では、家庭学習の時間が十分に確保されていない状況が読み取れました。予習・復習を習慣化させるなどの家庭学習の充実に向けて、条件整備をご家庭とともに進めていきますので、ご協力をお願いします。
- なお、「授業改善推進プラン」は、各学校のホームページ上で公表しています。

「確かな学力の定着度調査」結果の詳細は、葛飾区ホームページ(<http://www.city.katsushika.lg.jp>)「区政情報」→「統計・調査」→「調査」をご覧ください。

庶務課 ☎(5)654(8)449

受入先の方の声の中に、職場で仕事をするには、技術だけではなく、あいさつなど社会での基本的な常識も必要というものがありません。職場体験を通じて、生徒たちには、さまざまなことを学んでほしいと考えています。



○(有)原金属プレス型製作所  
プレス型の製作というと、油を差した機械が所狭しと並ぶ様子を想像するかもしれませんが、新宿中の流玉君(写真右)と関根君(同左)が体験したのは、パソコンでの製図作業。プレス型の元の図面を作っています。  
二人とも、こうした作業は想像していなかった様子で、仕事の幅の広さを感じたと話してくれました。